学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	技術家庭科(家庭科)	実施学年	３年	週時数	２時間

１　学習の目標等

学習の目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
使用教科書 副教材等	(開隆堂)技術・家庭　技術分野

２　学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備考
第１学期	4 5 6 7	①1 年を見越した「家庭科ガイダンス」 ②災害テスト ③住まいに関する絵本作成（コンクール参加作品作り⇒夏休み課題） ④未来の子ども命名	・自立した生活を身に付ける意識を付けるために学習内容と目標を立て、意識づけする。 ・災害への備えの必要性がわかり住まいや地域における工夫を考えることができる。 ・家族の安全を考えた住空間を考え住居の基本的な機能を知りながら、保育を絡めた絵本作成を完成させることができる。 ・自分の命名の由来を知ると共に、空想で家族を持ったときの子どもの命名を考え育ててくれた環境に感謝する。	・目標と感想文 ・小テスト ・絵本作品 ・レポート用紙	
第２学期	9 10	⑤住宅の間取り作成 ⑥幼児の遊びと発達「あやとり or お手玉検定」 練習と本番	・未来の自分が創る家族を想定して、住宅の間取りを作り、過ごしやすい環境つくりを考える。 ・幼児の遊びとその発達の特徴に気付き、本気になって遊びを極める。	・住宅間取りシール ・難易度別検定「あやとり or お手玉」	

	11 12	⑦幼児の心と体の発達 「生命の誕生」 ⑧妊婦体験	・生命の誕生から知り、命のすばらしさ、子どもを育てるうえでの愛情のかけ方などを知り、自分の環境に感謝する。 ・自分が産まれるまで妊婦の大変さを知り、相手を思いやる気持ちを育てる。	・感想文 ・レポート用紙	
第3学期	1 2 3	⑨高齢者体験 ⑩育児レポート	・いつかは来るであろう、高齢者の体験をすることで、高齢者への想いを再確認し、今後自分たちがどのように行動をすればよいのか気付く。 ・将来の自分へ向けた育児のコツレポートを作成し知識を深める。	・レポート用紙 ・レポート用紙	

3　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者とのかかわり方について理解している。 ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・絵本作成 ・災害テスト ・住宅間取りシール ・お手玉あやとり検定 ・育児レポート
思考・判断・表現	・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価。改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・絵本作成 ・住宅間取りシール ・お手玉あやとり検定 ・生命の誕生感想 ・命名
主体的に学習に取り組む態度	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・絵本作成 ・住宅間取りシール ・お手玉あやとり検定 ・育児レポート

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。